

V 上海医療器械高等専科学校との日中合作教育



① 「合作調印」と「合作教育システム」

① 2000年7月13日
2001年1月5日

合併教育調印

設置学科・・・「臨床工程技術専攻」(学制3年)、定員(60～70名)
2001年7月学生募集 ①日本短期留学研修 ②教員日本研修

② 2002年5月17日

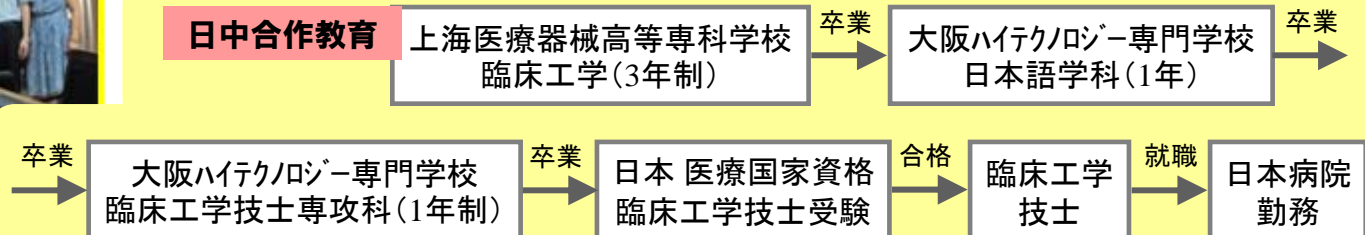
中外合作教育調印

設置学科・・・「臨床工程技術専攻」(学制3年)、定員(60～70名)
①日本短期留学研修 ②教員日本研修
③日本側教員年間5教科出向講義 ④日本留学受け入れ

③ 2006年12月19日

「臨床工学技士専攻科」(1年制)入学資格認定

日本 近畿厚生局より「中外合作教育」より、上海医療器械高等専科学校「臨床工学科」卒業生は、臨床工学技士法14条2号より「臨床工学技士専攻科」(1年制)入学資格認定



② 「中国初の臨床工学科設立」と「出向講義」

2004年より、「中外合作教育」スタート
日本側より5科目の出向講義(1科目 7~10日間 30~40時間)

<上海医療器械高等専科学校への日本側出向講義一覧>

| | 科目1 | 科目2 | 科目3 | 科目4 | 科目5 | 科目6 |
|-------------------|----------------|-------------|-------------|--------------|--------|----------------|
| 2003.4~ 2004.3 | 生体物性と 生体材料学 | | | | | 日本臨床工学 制度 |
| 2004.4~ 2005.3 | 医療機器安全 管理学 | 医用診断機器 学 | 人工透析 機器学 | 呼吸器と 呼吸療法 | | 日本語会話 |
| 2005.4~ 2006.3 | 医療機器安全 管理学 | 医療治療機器 | 人工透析 機器学 | 呼吸器と 呼吸療法 | 医療検査機器 | 生体物性と 生体材料学 |
| 2006.4~ 2007.3 | 生体物性と 生体材料学 | 医療治療機器 | 人工透析 機器学 | 呼吸器と 呼吸療法 | 医療検査機器 | 日本語会話 |
| 2007.4~ 2008.3 | 臨床工学技術 概論 | 医療治療機器 | 人工透析 機器学 | 呼吸器と 呼吸療法 | | 日本臨床工学 制度 |
| 2008.4~ 2009.3 | 医療機器安全 管理学 | 医療治療機器 | 人工透析 機器学 | 呼吸器と 呼吸療法 | 医療検査機器 | 日本臨床工学 養成 |
| 2009.4~ 2010.3 | 医療機器安全 管理学 | 医療治療機器 | 人工透析 機器学 | 呼吸器と 呼吸療法 | 医療検査機器 | 日本臨床工学 養成 |

延べ講師人数 94人(大学教授・准教授、大阪ハイテク専任教員、企業技術者 他)

※通訳込

③ 「臨床工学科」設置による「設備・教員研修」



教員の日本研修状況

| | 教員数 | 期間 |
|-------|-----|-------|
| 2002年 | 2名 | 3ヶ月 |
| 2003年 | — | — |
| 2004年 | 2名 | 2ヶ月 |
| 2005年 | 2名 | 2.5ヶ月 |
| 2006年 | — | — |
| 2007年 | 1名 | 2週間 |
| 2008年 | — | — |
| 2009年 | 6名 | 1ヶ月 |
| 2010年 | 3名 | 1ヶ月 |
| 2011年 | — | — |
| 合計 | 16名 | |

2001年 設備提供

ニプロ株式会社

透析機器(3台) ※60万円

日機装株式会社

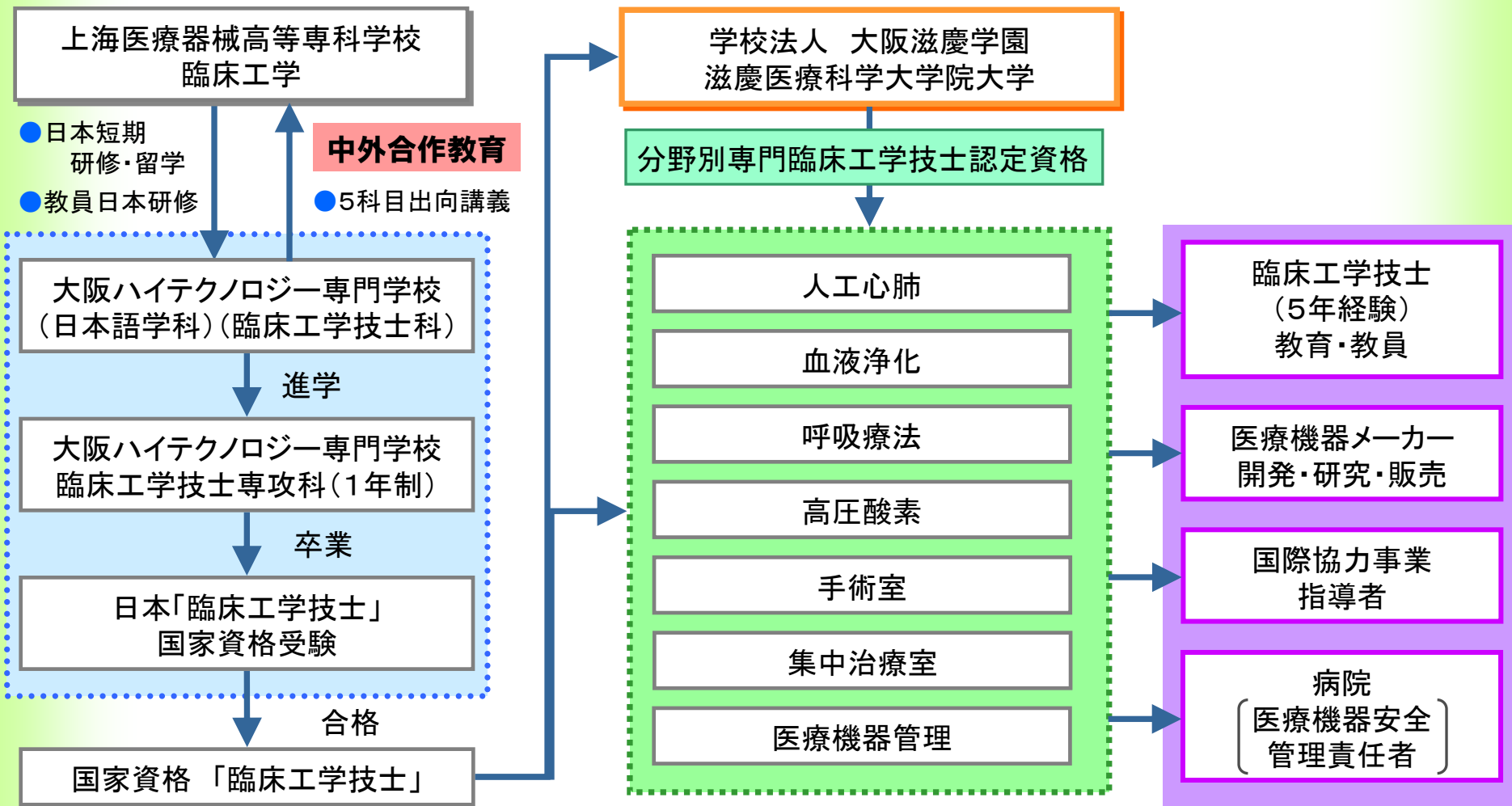
透析機器(2台)+浄化装置 ※40万円

2011年 設備提供

ニプロ株式会社

最新透析機器(4台)+浄化装置セット ※100万円

④ 国際型臨床工学モデルへの発展



※ アジアの高等職業教育(臨床工学、看護、リハビリテーション等)に
貢献できる連携推進人材育成

⑤-(1):日本の医療関係の国家資格を持つ外国人の入国・在留について

中国の「アジア職業人材養成センター」

外国人が取得して日本で働ける
医療系国家資格

医師
歯科医師
薬剤師
保健師
助産師
看護師
准看護師
歯科衛生士
診療放射線技師
理学療法士
作業療法士
視能訓練士
臨床工学技士
義肢装具士

外国人が取得して日本で働けない
医療・福祉系国家資格

医療系

臨床検査技師
柔道整復師
鍼灸師
登録販売者
(薬種商)
言語聴覚士

福祉系

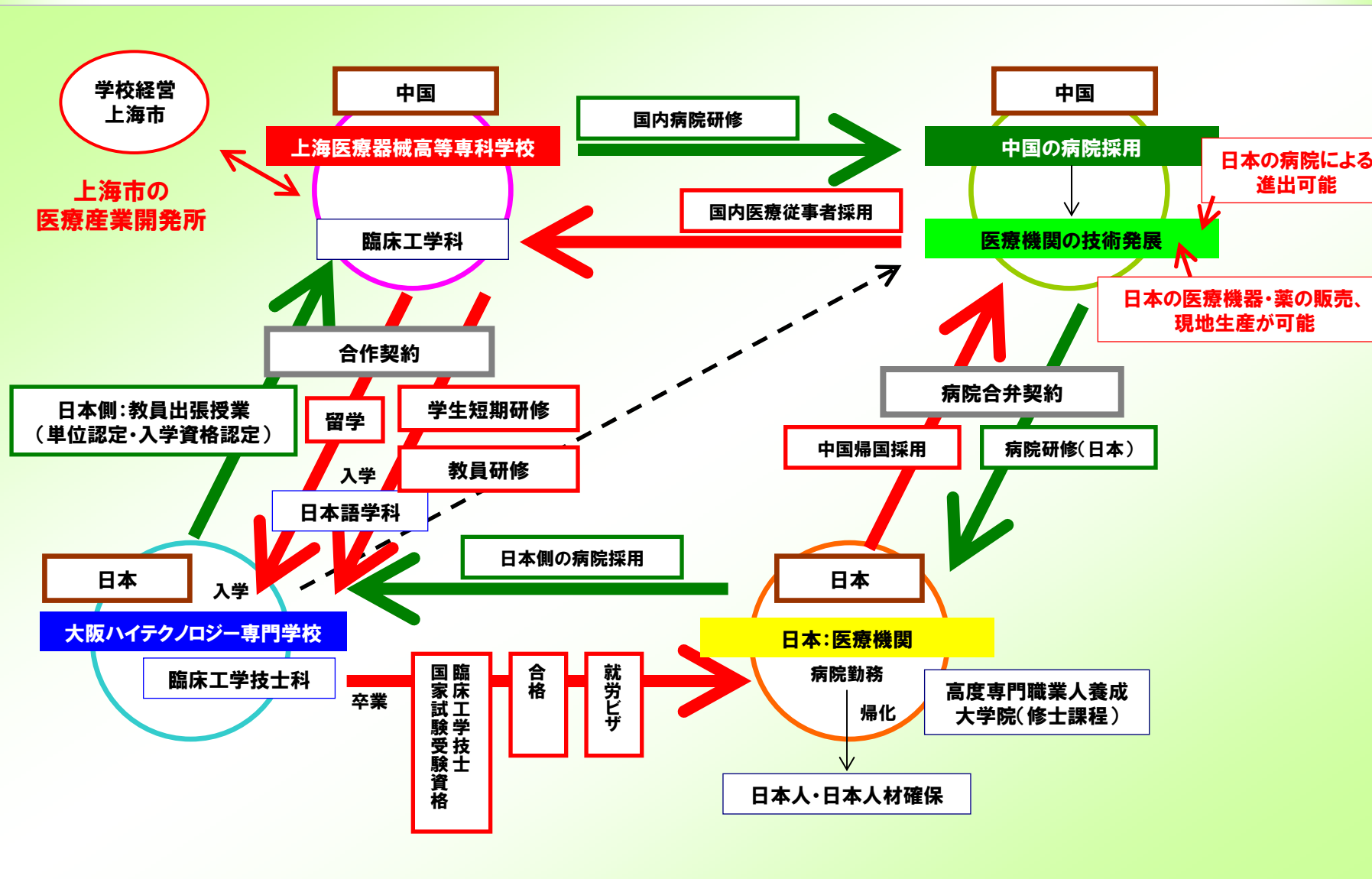
社会福祉士
精神保健福祉士
介護福祉士
保育士

出入国管理及び難民認定法第7条第1項第2項の基準に定める省令
(平成2年法務省例第16号)

VI グローバル専門人材育成システム

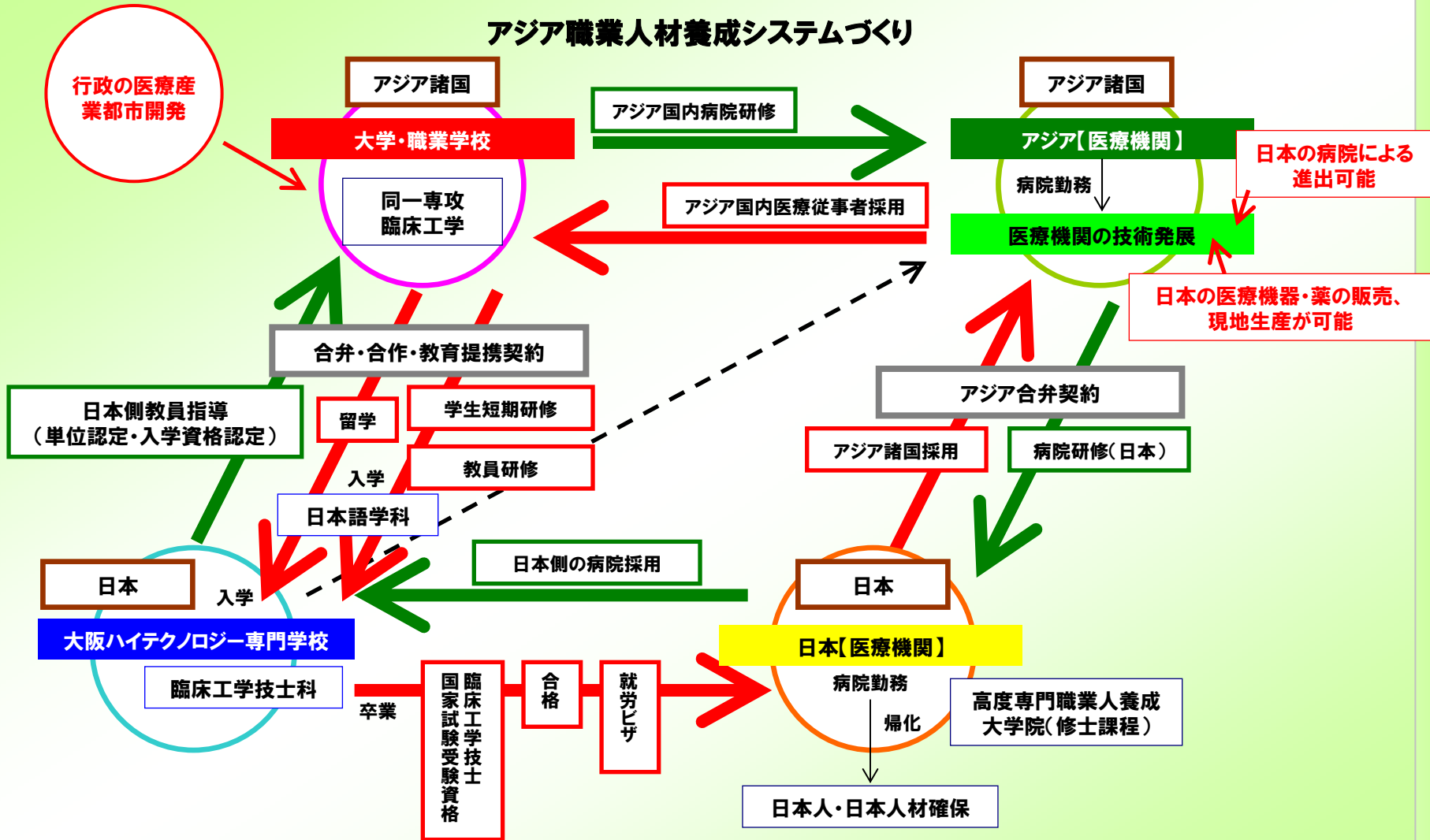
～臨床工学技士 ⇒ 看護師 ⇒ 視能訓練士 ⇒ 理学療法士/作業療法士～

① 中国人「臨床工学技士」の養成と、中国「臨床工学技士技術発展への貢献」



② アジア人「臨床工学技士」の養成と、アジア「臨床工学技士技術発展への貢献」

アジア職業人材養成システムづくり



アジア臨床工学フォーラム

Asia Forum for Clinical Engineering
亞洲臨床工学论坛



第1回
アジア臨床工学フォーラム
(2012, OSAKA, AFCE)

日時:2012年4月22日(日曜日)

時間:10時00分~16時30分

場所:大阪国際会議場

主催:

(日本)

大阪滋慶学園

滋慶医療科学大学院大学

アジア職業人材養成センター

共催:

(中国)

上海理工大学

上海医療器械高等専科学校

開催概要

- ◆名称◆
第1回アジア臨床工学フォーラム
(2012・OSAKA・FACE)
- ◆テーマ◆
ーグローバル時代を迎えるアジアの臨床工学ー
- ◆会期◆
2012年4月22日(日曜日) 9:00~16:30
- ◆会場◆
日本・大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
- ◆主催◆
(日本) 大阪滋慶学園
滋慶医療科学大学院大学
アジア職業人材養成センター
- ◆共催◆
(中国) 上海理工大学
上海医療器械高等専科学校
- ◆後援◆
(日本) 文部科学省
(日本) 大阪府
(日本) 大阪府教育委員会
(日本) 一般社団法人 大阪府医師会
(日本) 公益社団法人 大阪府看護協会
(日本) 一般社団法人 大阪府臨床工学技士会
(日本) 一般社団法人 日本臨床工学技士教育施設協議会
(日本) 一般社団法人 医療国際化推進機構
(日本) 社団法人 メディカル・フィットネス協会
(日本) 財団法人 大阪医療技術学園
(日本) 朝日新聞社
(日本) 株式会社 日刊工業新聞社
- ◆協賛◆
大正医科器械株式会社
ニプロ株式会社
日本光電株式会社
石黒メディカルシステム株式会社
グリーンホスピタルサプライ株式会社
コスモテック株式会社
シスメックス株式会社
株式会社ホクシンメディカル
株式会社学研メディカル秀潤社
泉工医科工業株式会社
東レ・メディカル株式会社
名鉄観光サービス株式会社
株式会社日本販売企画
東京医薬専門学校
北海道ハイテクノロジー専門学校
大阪ハイテクノロジー専門学校
大阪医療技術学園専門学校
大阪保健福祉専門学校
大阪医療福祉専門学校
大阪医療看護専門学校
- ◆実行委員長◆
(日本) 浮舟 邦彦
(大阪滋慶学園滋慶医療科学大学院大学理事長・米国フロリダ州立ウエストフロリダ大学名誉博士)
- ◆副委員長◆
(中国) 鄭 剛
(上海理工大学副学長・上海医療器械高等専科学校学長・教授)

②-(3):アジア医療系人材養成の連携づくり-アジア臨床工学フォーラムプログラム

開会式(9:00)

開会の辞 浮舟邦彦

(大阪滋慶学園滋慶医療科学大学院大学理事長)

招聘講演(9:10~9:50)

招聘講演1

『日本の医療資格制度の過去、現在、未来』

講演:渡辺敏(財団法人医療機器センター理事長)

招聘講演2

『中国医療器械有害事象の監督と出荷後の危機管理』

講演:董放(中国国家食品薬品监督管理局薬品評価センター処長)

特別講演・教育講演(9:50~10:50)

特別講演

『東日本大震災の経験-被災に対する臨床工学技士の活動と今後の課題』

講演:菊池雄一(一般社団法人岩手県臨床工学技士会会長)

教育講演1

『日本臨床工学技士の誕生と発展』

講演:小野哲章(滋慶医療科学大学院大学教授)

教育講演2

『中国のBMEと医療機器』

王威琪(中国工程院院士/復旦大学教授/上海理工大学名誉院長)

休憩(10:50~11:00)

シンポジウム1(11:30-12:30)

“アジア各国の臨床工学-現状、課題、その他”

演題1『韓国のPerfusionistの現状』

演者:李知然(韓国/ソウル・アサン医療センター)

演題2『ベトナムの透析の現状』

演者:阮必勝(ベトナム/ハノイ・ホエ・ナイ病院)

演題3『インドネシアにおける臨床工学について』

演者:Asmaranto Prajoko

(インドネシア/インドネシア共和国保健省)

演題4『バングラデシュの公立病院における医療画像装置の在庫リストとデータ管理システムの改善について』

演者:Anwar Hossain, A. B. M. Siddique

(バングラデシュ/健康家族福祉省附属国立医療電子装置管理研修センター)

演題5『カンボジアの医療機器の状況について』

演者:Hab Soksamnang

(カンボジア/国立母子健康センター)

演題6『ネパールにおける生物医学分野のシナリオ』

演者:Roshan Bajracharya

(ネパール/カトマンズ・カンチ子供病院)

昼食(12:30~13:30)

【特別企画】日中学生ポスター発表・日本文化披露(茶道・華道)・協賛企業展示会

シンポジウム2(13:30~14:45)

“臨床工学職場及び人材養成のグローバル化への変化”

演題7『中国の臨床工学の理念と現状』

演者:葛毅

(中国/上海長征病院設備科)

演題8『日本の臨床工学技士の現状と役割、そして期待』

演者:村中秀樹

(日本/一般社団法人大阪府臨床工学技士会会長)

演題9『国際的臨床工学技士の養成について実践的探索』

演者:胡兆燕・銭峰・馬曉明・蘇全

(中国/上海医療器械高等専科学校日中合作臨床工学科、深圳職業技術学院日中合併医療電子工学科)

演題10『日本の臨床工学技士になるため、中国人留学生の養成現状と課題』

演者:須崎正敏

(大阪ハイテクノロジー専門学校臨床工学技士科)

演題11『浙江大學における生物医学工学の教育・研究活動について』

演者:寧鋼民

(中国/浙江大学生物医学工程学科)

パネル・ディスカッション(15:00~16:20)

【司会】加納隆(埼玉医科大学教授)

【パネリスト】

・日本:山下芳久(日本臨床工学技士会国際交流委員会委員長・埼玉医科大学准教授)

『現代医療における臨床工学技士と国際交流』

・中国:劉学軍(北京医学会血液浄化技術分会会長・中日友好病院)

『中国透析医療における臨床工程技師の現状及び発展』

・台湾:蕭德瑛(台湾・国立清華大学教授)

『台湾の生物医学工学の教育と関連する資格の状況について』

・日本:柴原伸久(有澤総合病院院長)

『中国・東南アジアにおける透析事情』

・シンガポール:黃為民(南洋理工大学副教授)

『形状記憶材料の低侵襲手術への応用』

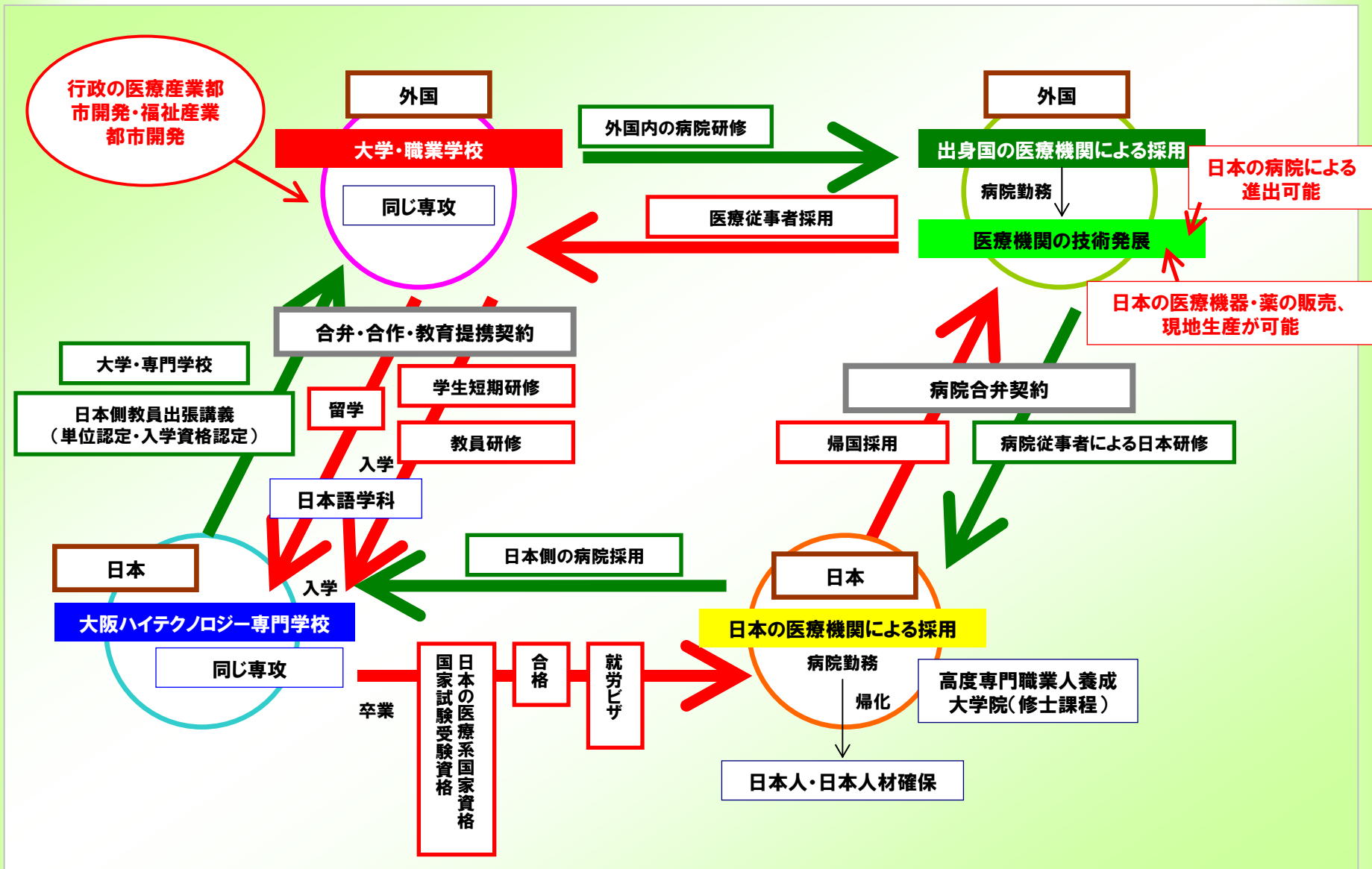
優秀ポスター発表授賞式(16:20~16:30)

閉会式(16:30)

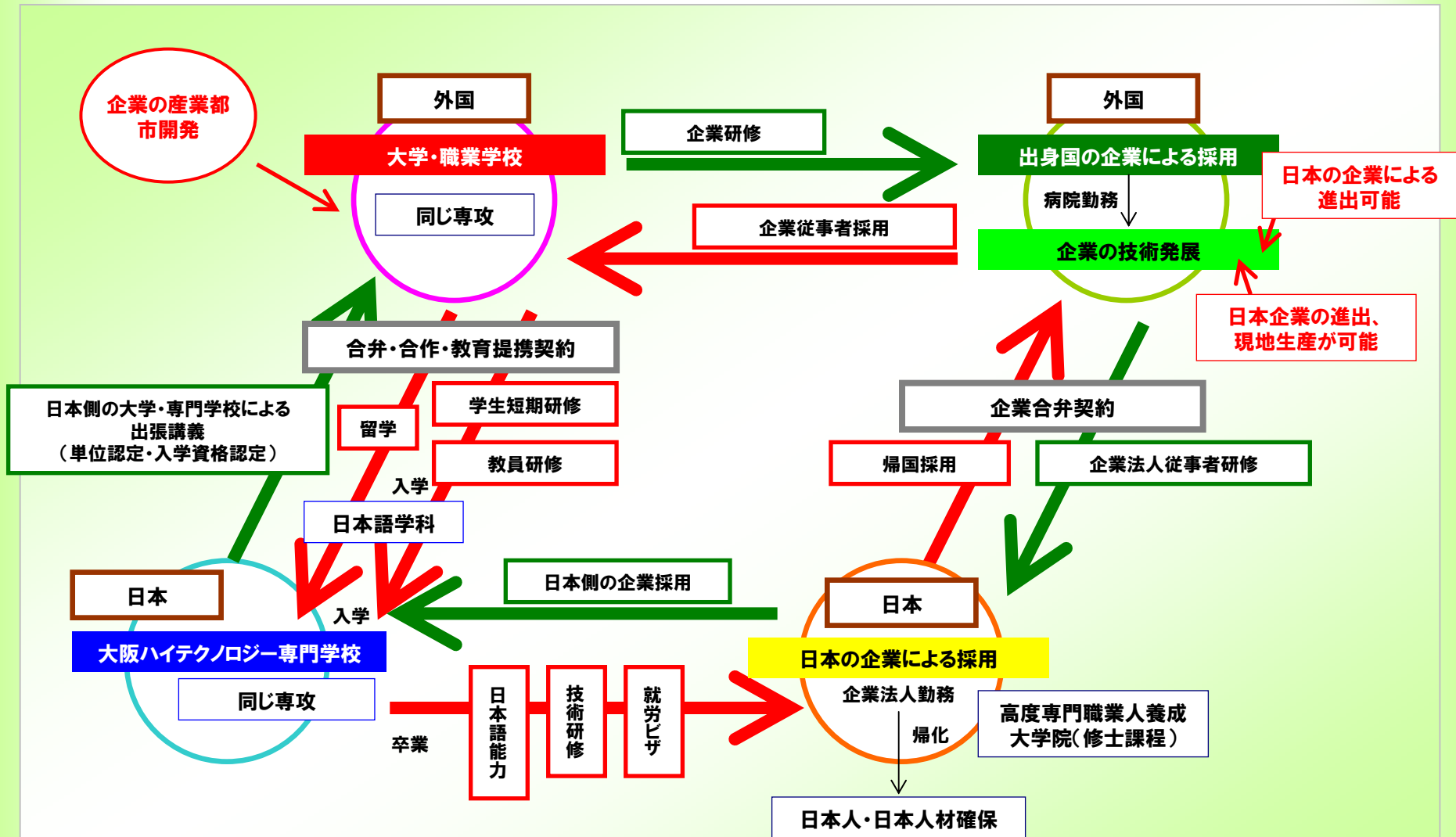
閉会の辞 丁岳偉

(上海医療器械高等専科学校副校長)

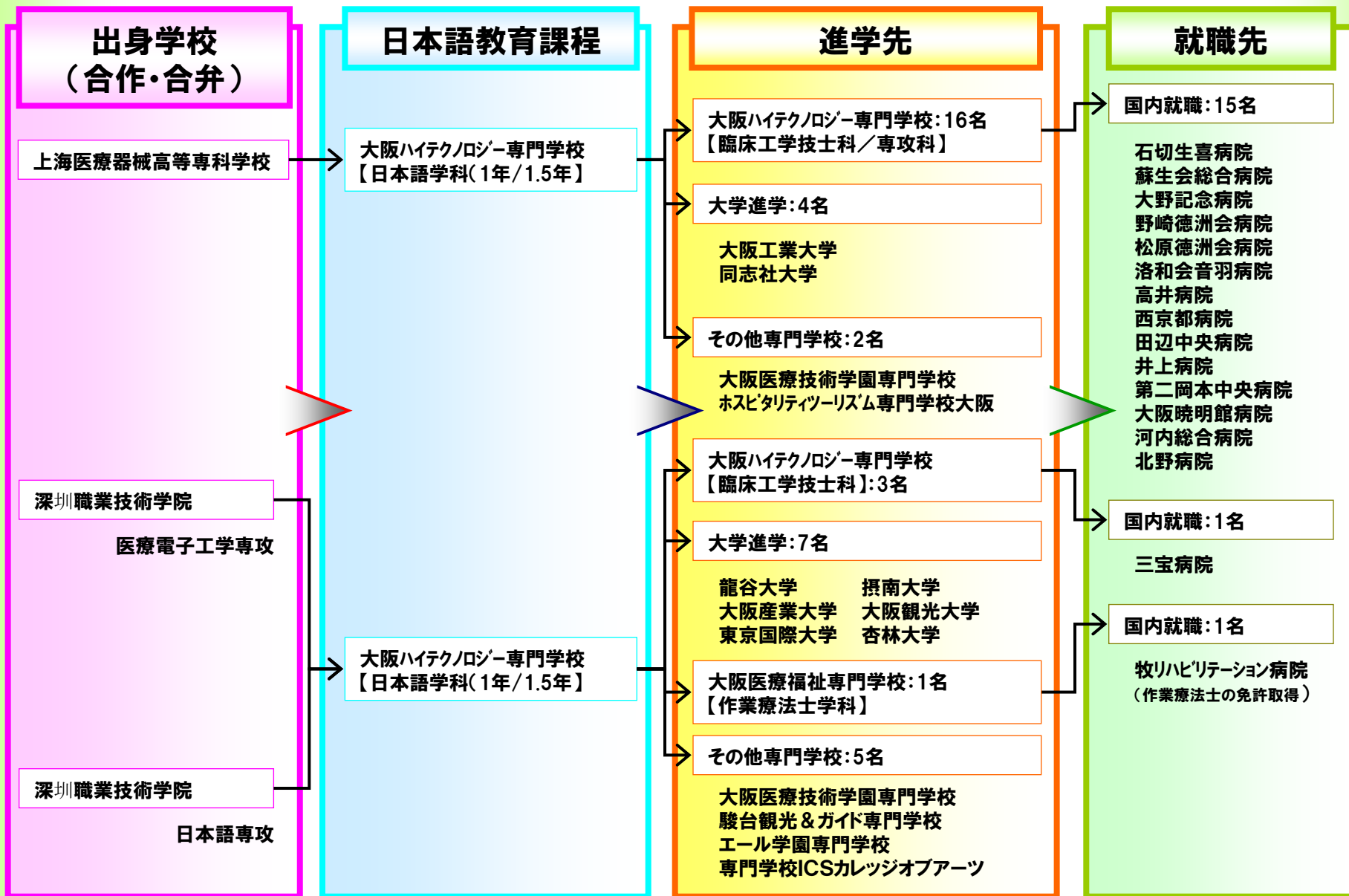
③ 外国人医療従事者の養成と出身国の医療技術力up・発展への貢献



④ 外国人企業従事者の養成と出身国の企業技術力up・発展への貢献



VII 大阪滋慶学園への合併・合作学校出身留学生の進路



VIII 合併学科調印、入学式、卒業式



中華人民共和国 教育部 吳啓迪 副部長 との記念写真
2007年5月 同済大学100周年にて)

医療教育の国際化

廣州中医薬大学・廣東医学院との合併学科設立



廣東医学院との合併学科調印

写真左から橋本勝信事務局長、廣東医学院 梁念滋院長、澤柳新彦理事長

ジョイント カリキュラム 来年から

産能短大(通信教育)の
卒業がよりたゆまぬ

専修学校設置基準の改正より総時間数、総単位数の分の一を超えない範囲で、学と専門学校、短大と専門学校、あるいは専門学校と専門学校との間において、履修目の単位を相互に認定できるようにになった。

たとえば本校で実施されているJESCO選択科目は、門学校間の単位認定であるさらに平成八年度の入学し、産能短大(通信教育)大阪ハイテクノロジー専門学校との間で向校の共通科目本校の試験で合格すれば産能短大の試験を受けなくても

合併学科調印 1995年4月15日 於大阪

(掲載：大阪ハイテクノロジー専門学校学園新聞 1995年11月6日発行)



広州中医薬大学入学式 1997年9月9日 於中国

(掲載：大阪ハイテクノロジー専門学校学園新聞 1997年11月6日発行)



首都医科大学における調印式



この両校の合併学科の入学は卒業前に一ヶ月間、日本の企業・病院、本校での研修のために来日します（各学科四〜六名）。学生達との交流も活発になります。また双方の教員の派遣が年間四名ずつあります。日本語、中国語、英語の会話が盛んになります。

広がる中国提携校
先端医療分野に新しい合併学科

首都医科大学合併学科調印 於中国

大阪滋慶学園グループ
中国合併学科第一期卒業生、業界へ



廣東医学院卒業式（2000年7月）

廣東医学院卒業式 於中国

（掲載：大阪ハイテクノロジー専門学校学園新聞 2000年11月6日発行）

大阪滋慶学園グループと連携する 米国・中国の高等職業教育

平成23年度 大阪滋慶学園卒業式(於大阪)



平成24年度 大阪滋慶学園入学式(於大阪)